

umsetzenの用法の分布と推移：DWDS中核コーパスおよび新聞コーパスに基づく調査

恒川，元行
九州大学大学院言語文化研究院

<https://doi.org/10.15017/7172719>

出版情報：言語文化論究. 52, pp.89-104, 2024-03-15. Faculty of Languages and Cultures, Kyushu University
バージョン：
権利関係：



umsetzen の用法の分布と推移

——DWDS 中核コーパスおよび新聞コーパスに基づく調査——

恒 川 元 行

1. 本稿の目的

恒川（2022a）では、DWDS 中核コーパス（以下、KK20）のデータをもとに、「実施に移す」意の *umsetzen* の付随用法（t/ ほか）と非付随用法（#/）の分布、および非付随用法（#/）の初出時期を調査した。本稿では同様の調査を、利用コーパスを DWDS 新聞コーパスにも広げ、共起目的語 *Plan*、*Theorie*、*Beschluss*、*Idee*、*Programm* の場合に限定して実施した。本稿の目的は、その調査およびデータ間比較の結果を報告することである。

1.1 付随用法と非付随用法

ドイツ語動詞 *umsetzen* には、この動詞が「実施に移す」意で用いられる場合、次例のように、前置詞句 *in die Tat* ほかを伴う場合と、前置詞句を伴わず動詞単独のみで同じ意味を表す場合がある。

Es müsse ausdrücklich beschrieben werden, wann und wie der *Plan in die Tat umgesetzt* werden kann. (Die Zeit, 06.03.2016 (online))

Auch die *Pläne* für die “Westerwelle Foundation” konnte er nie so richtig *umsetzen*. (Die Zeit, 18.03.2016 (online))

本稿では以下、恒川（2022a）と同様に、動詞 *umsetzen* に前置詞句が付随している／付随していないという意味で、前者を「付随用法」、後者を「非付随用法」と呼ぶ（2.2.1節も参照）。

1.2 利用したコーパス

<u>DWDS 参照コーパス (Referenzkorpora)</u>	コーパス規模 (億トークン)
KK20 = DWDS-Kernkorpus (1900–1999)	約1.22
KK21 = DWDS-Kernkorpus 21 (2000–2010)	約0.16

<u>DWDS 新聞コーパス (Zeitungskorpora)</u>	
ZEIT = Die ZEIT (1946–2018)	約5.63
TS = Der Tagesspiegel (ab 1996)	約5.65
ND = neues deutschland (1946–1990)	約4.44
BZ01 = Berliner Zeitung (1945–1993)	約4.98
BZ02 = Berliner Zeitung (1994–2005)	約2.37

KK20 (中核コーパス) は、テキスト種と一世紀にわたる時間の幅の点で代表性 (Repräsentativität) に配慮して構築された、文字どおり DWDS の中核となる基本コーパスである。これに対し、構築途上の KK21 はまだ 2010 年までのデータしかカバーしておらず、本稿では単独で特段の重要性が認められたわけではない。しかし、KK20 と合わせることで観察の時間幅が広がり、ドイツ語展開の今後を多少なりとも窺い知る手立てとすることができるという点では有用である。

他方、新聞コーパスはそれぞれカバーしている時間の幅が少しずつ異なり、また第二次世界大戦後の西側の新聞 (ZEIT、TS) および東側の新聞 (ND、BZ) という違いもあり、多面的な比較を可能にしている。

今回の共起目的語 *Plan*、*Theorie* の調査では、これら個別コーパス 7 種すべてを利用した (表 1 および表 2)。これに対し、*Beschluss*、*Idee*、*Programm* の場合は、KK20 のほか、ZEIT、ND、および BZ01 のみを利用した (表 3 ～ 表 5)。後者の場合、相対的により以前のドイツ語をカバーした 4 コーパス (KK20、ZEIT、ND、BZ01) に限定したのは、非付随用法 (#/) の出現が 1970 年代以前であり (2.2.1 節参照)、相対的に新しいデータ (KK21、TS、BZ02) には、初出時期の特定に関しては意味が乏しいと考えられたためである。

1.3 検索式

事例を抽出するための検索式は次のとおりである。

```
umsetzen || "setzen #15 um with $p=PTKVZ" && Plan
```

末尾「&&」右側の *Plan* を *Theorie* ～ *Programmn* に代えることにより、それぞれの事例を抽出することができる (詳しくは「ドイツ語コーパスハンドブック 2009」、また恒川 2022a；2.2 節参照)。

1.4 対象とした共起目的語

「実施に移す」意の *umsetzen* は特に近年、多用されており、さまざまな目的語と共起している (恒川 2023 参照；ただし、この恒川 2023 は ZEIT コーパス抽出の付随用法のみが対象であり、非付随用法を含めた調査ではない)。このうち、本稿の調査の対象とした目的語は、冒頭で述べたとおり、以下の 5 つである。これらは、恒川 (2023) で明らかになった高頻度共起目的語のうちの上位の 5 つである。

<i>Plan</i>	<i>Beschluss</i>
<i>Theorie</i>	<i>Idee</i>
	<i>Programm</i>

本稿で調査対象をこれらの少数の共起目的語に限定した理由は、KK20 に比べ、ZEIT ほかの新聞コーパスでは抽出されるデータ量が格段に増えるためである。恒川 (2022a) と同じ検索式、すなわち上記の検索式から「&& Plan」の部分を外した、*umsetzen* の全事例を対象とした検索式を用いると、新聞コーパスでのヒット数は以下のように膨大なものになる。したがって、調査・分析を実

施可能にするためには対象の限定が不可避である。

ヒット数の比較

中核コーパス	ヒット数	⇔	新聞コーパス	ヒット数
KK20	1715		ZEIT	26163
KK21	165		TS	35747
			ND	11170
			BZ01	9981
			BZ02	12163

2. 調査結果

2.1 集計表

次ページ以降に調査結果の表 1～5 を示す。表中の数値は、重複事例（恒川 2022b の 2.3.2 節参照）が見られた場合には、それらを除外した後の事例数である。

2.2 集計表の構成

2.2.1 横軸

表の横軸の記号は、それぞれ以下の用法を意味している。

非付随用法

#/ = etwas *Ø* umsetzen

付随用法

t/ = etwas *in die Tat* umsetzen

p/ = etwas *in die Praxis* umsetzen

w/ = etwas *in die Wirklichkeit* umsetzen

r/ = etwas *in die Realität* umsetzen

[他] = etwas *in Aktionen/in bewußtes Handeln* umsetzen など

抽出された事例の大半は、「前置詞 *in* + 定冠詞 *die* + 中核名詞 *Tat/Praxis/Wirklichkeit/Realität*」を前置詞句とする中核用法である。しかし、中にはたとえば *in die politische Tat*、*in Ø Praxis*、*in die Alltagswirklichkeit* などのような、前置詞句バリエーションも見られる（恒川 2022b）。これらは少数であるため、本稿では集計表を俯瞰しやすくする目的で別個に区別せず、t/、p/、w/、r/ に含めて集計した。

また、表右端の記号 [他] は、前置詞句の中核名詞が *Tat/Praxis/Wirklichkeit/Realität* 以外、すなわち *Aktion*、*Aktivität*、*Handeln* などの場合を示す。この種の中核名詞のバリエーションも、数量的にはわずかである。該当事例がある場合には、その内訳を ND の表の下に示した。事例がない場合、[他] の列は省略した。

表 1 : Plan

KK20

	#/	t/	p/	w/	r/
1920		2			
1925		1	1		
1930					
1935		1			
1940		3	1		
1945		2	1	1	
1950		2			
1955					
1960					
1965		2			
1970					
1975		1			1
1980		2			
1985					
1990		1			
1995		1	1		
小計	2	17	2	2	1
					合計 24

KK21

	#/	t/	p/	w/	r/
2000	3	1	1		
小計	3	1	1	0	0
					合計 5

ZEIT

	#/	t/	p/	w/	r/	[他]
1946			2		3	
1950			4		1	
1955			3		1	
1960			3	1	1	
1965			3	1	2	
1970	1	10			1	1
1975		8			1	
1980	1	8	2			
1985	4	7		3		
1990	5	11	1	1		
1995	12	2	1	1	1	
2000	31	4				
2005	41	9	1		1	
2010	219	25	1		2	1
2015	121	16	1		1	
小計	435	115	9	14	6	2
					合計 581	

TS

	#/	t/	p/	w/	r/
1996	36	9			
2000	139	20	2		1
2005	167	18	2		
2010	161	16			
2015	193	18	1		
2020	119	10			1
小計	815	91	5	0	2
					合計 913

ND

	#/	t/	p/	w/	r/	[他]
1946			14	1	2	1
1950			44	3	2	
1955			43		2	
1960			16	1	3	
1965	1	24		1	2	
1970	3	20	1			
1975		12				
1980	1	6				
1985	2	10	2	2		
1990	2	1				
小計	9	190	8	12	2	1
					合計 222	

ZEIT [他] = Handeln (2)

ND [他] = Tatsache (1)

BZ01

	#/	t/	p/	w/	r/
1945		14	2	2	
1950		29	1		
1955		9		2	
1960		19	1	1	
1965	2	13	3	1	1
1970		15	1		
1975		20			
1980	2	7			
1985	2	8		1	
1990	19	12		1	
小計	25	146	8	8	1
					合計 188

BZ02

	#/	t/	p/	w/	r/
1990	10	3			
1995	107	26	3	1	
2000	122	21	1	2	
2005	30	3			
小計	269	53	4	3	0
					合計 329

表 2 : Theorie
KK20

	#/	t/	p/	w/	r/
1905			2		
1910			1		
1915					
1920					
1925			1	1	
1930			2		
1935					
1940					
1945					
1950					
1955					
1960			3		
1965					
1970					
1975					
1980					
1985					
1990					
1995					
小計	0	1	9	0	0
合計	10				

KK21

	#/	t/	p/	w/	r/
2000	1				
小計	1	0	0	0	0
合計	1				

ZEIT

	#/	t/	p/	w/	r/
1946				1	
1950			1		
1955			2		
1960			3		
1965			1	6	
1970			1	3	
1975			2	6	
1980			1	8	
1985			4	4	1
1990				2	1
1995			2	1	6
2000				3	
2005			4	2	
2010			2	1	
2015					
小計	13	6	47	2	1
合計	69				

TS

	#/	t/	p/	w/	r/
1996	1		2		
2000	3		6		
2005	2	1	6		1
2010	2		7		
2015	4	1	2		
2020			2		
小計	12	2	25	0	1
合計	40				

ND

	#/	t/	p/	w/	r/
1946		3	5		
1950		5	4	1	
1955		4	4		
1960		2	8		
1965		1	3	2	
1970	1				
1975			2		
1980			1	1	
1985	1		4		
1990					
小計	2	15	31	4	0
合計	52				

BZ01

	#/	t/	p/	w/	r/
1945		1	2		
1950			3		
1955		2	4		
1960		3	3		
1965		1	3		
1970			3		
1975			1	1	
1980	2		1		
1985	1		3		
1990		2	1		
小計	3	9	24	1	0
合計	37				

BZ02

	#/	t/	p/	w/	r/
1990					
1995		2	4		
2000	7		1		
小計	7	2	5	0	0
合計	14				

表3 : Beschluss

KK20

	#/	t/	p/	w/	r/
1940		1			
1945					
1950		2			
1955		1			
1960		2			
1965	1	1			
1970		3	1		
1975		3		1	
1980					
1985					
1990	4				1
1995	1				
小計	6	13	1	1	1
合計					22

ZEIT

	#/	t/	p/	w/	r/	[他]
1946		1			1	
1950		2				
1955		2				
1960		1				
1965			1			
1970		3	1			
1975	3	4				1
1980		4				
1985	2	3	1			
1990	11	2				
1995	9	2	1			
2000	14	1				
2005	16	1				
2010	110	12				
2015	60	5				
小計	225	43	4	1	0	1
合計					274	

ND

	#/	t/	p/	w/	r/	[他]
1946		31	3	3		
1950		106	3	2		
1955		133	4			
1960		107	14			
1965	6	73	2	3		
1970	5	84	6		1	
1975	8	94	8	2	1	
1980	12	93	3		1	
1985	27	78	3			
1990	1					
小計	59	799	46	10	0	3
合計					917	

BZ01

	#/	t/	p/	w/	r/	[他]
1945		8	1	1		
1950		21	3			
1955		27	2			
1960	1	62	2	1		
1965	3	46	4		1	
1970	7	37	4			
1975	12	47	7	1	1	
1980	12	44	4			
1985	13	39	1		1	
1990	39	2				
小計	87	333	28	3	1	2
合計					454	

ZEIT [他] = Aktion (1)

ND [他] = Aktivität (1), Handeln (2)

BZ01 [他] = Aktivität (1), Handeln (1)

表 4 : Idee

KK20

	#/	t/	p/	w/	r/
1900		4			
1905					
1910					
1915		1			
1920		2			
1925			1	1	
1930		1			
1935					
1940					
1945		1			
1950				1	
1955			1		
1960		1			
1965					
1970		2	1	1	
1975					
1980	1			1	
1985					
1990					
1995	4	3			
小計	5	15	3	4	0
合計					27

ZEIT

	#/	t/	p/	w/	r/	【他】
1946		4	3	1		
1950		2				
1955		5	1			
1960		3	1			
1965		11	2	2	1	1
1970		7	1		1	
1975	2	4		1		1
1980	7	11	2	2		
1985	13	16	2	2		
1990	19	16	2		1	
1995	50	12	3	3	1	
2000	72	8	4			
2005	80	11	5	1		2
2010	203	15	2			
2015	93	5	2		1	
小計	539	130	30	12	5	4
合計						720

ND

	#/	t/	p/	w/	r/	【他】
1946		7	3	1		
1950		9	1	4		
1955		17	4	2		
1960	2	34	1	2		
1965	7	29	4	4	1	
1970	14	38	7	2		1
1975	19	28	4	1		
1980	16	16	6	1	1	2
1985	19	21	6			1
1990	6	1	1			
小計	83	200	37	17	1	5
合計						343

BZ01

	#/	t/	p/	w/	r/	【他】
1945		4	1	2		
1950		4	2			
1955		15				
1960	1	20	1	1		
1965	4	33	3	3		
1970	12	15	4	4		
1975	10	11	4			
1980	12	12	4			1
1985	22	17	2			
1990	55	17	5	1	1	
小計	116	148	26	11	1	1
合計						303

ZEIT 【他】 = Aktion (2), Handlung (1), Tun (1)

ND 【他】 = Aktion (2), Aktivität (2), Handeln (1)

BZ01 【他】 = Aktivität (1)

表5 : Programm

KK20

	#/	t/	p/	w/	r/	[他]
1945						
1950		1				
1955						
1960						
1965		1				
1970						
1975						
1980						
1985			1			
1990		1				
1995		1	1			1
小計	0	4	2	0	0	1
						合計 7

ZEIT

	#/	t/	p/	w/	r/	[他]
1946						
1950						
1955						
1960						
1965	1	1	1	2		
1970						1
1975		10				1
1980		3				
1985	4		1			
1990	2	2	1			
1995	7	7				
2000	5	1				
2005	11	1				
2010	66	5				
2015	22	1				
小計	118	31	3	2	1	2
						合計 157

ND

	#/	t/	p/	w/	r/	[他]
1946		1	1			
1950		12		1		
1955		29		1		
1960		30	1			
1965	1	13	1			
1970	1	36	2	1		
1975	2	28	2	2		
1980	1	11	2			
1985	11	8	1		1	
1990	0	0	0	0	0	0
小計	16	168	10	5	0	1
						合計 200

BZ01

	#/	t/	p/	w/	r/
1945		5		1	
1950		4		1	
1955	1	3			
1960		16	1	1	
1965	1	8	1		
1970		17	4		
1975	2	17	1		
1980	2	10	1		
1985	7				
1990	11	2	1		1
小計	24	82	9	3	1
					合計 119

KK [他] = Aktivität (I)

ZEIT [他] = Aktion (I), Handlung (I)

ND [他] = Handeln (I)

2.2.2 縦軸

縦の時間軸は、それぞれ5年の時間幅になっている。たとえば、表の1990は1990年～1994年、1995は1995年～1999年のそれぞれ5年を表している。ただし、ZEIT、TS、ND、BZ01、BZ02の最初と最後の区分は、各コーパスの時間幅に応じて5年よりも短い。このような形で集約して表を作成したのは、これもまた、データ全体の俯瞰性を高めるためである。

また、KK20の表の起点年は、事例の最も古い時間区分を採用しているため、*Plan*（表1）では1920、*Theorie*（表2）では1905のようにそれぞれ異なっている。

3. 観察

3.1 非付随用法（#/）

恒川（2022a:80）の調査では、KK20における非付随用法（#/）の分布は次表6のとおりである（恒川2022aの表5を5年幅に改編）。この表が示すとおり、非付随用法（#/）の初出はすでに早く1920年代（1922年）に見られるが、1959年以前は3例のみと散発的である。これに対し、1960年代以降は徐々に増え始め、1990年代以降は急増している。

表6：KK20における非付随用法（#/）の分布

1920	1	1960	2
1925	0	1965	2
1930	0	1970	8
1935	1	1975	2
1940	1	1980	6
1945	0	1985	10
1950	0	1990	29
1955	0	1995	63

初出と分布傾向

表1～5に示したKK20における非付随用法（#/）の分布は、*Plan*～*Programm*の事例を改めて個別に調査した結果であり、当然のことながら表6と重なり、その一部を取り出して個別に示したものになる。上述のとおり、分布の中心は1990年代以降である。すなわち、*Plan*（表1）の場合1990年代以降、*Beschluss*（表3）では1965年代（1966年）に初出が見られるがやはり1990年代以降、*Idee*（表4）でも、1980年代の初出の1例（1983年）を除き複数事例は1995年代以降である（カッコ内は初出の実際年、以下同じ；本稿末の「初出事例」参照）。なお、*Theorie*（表2）、および*Programm*（表5）の場合、KK20には事例が見られない（*Theorie*の初出はKK21の2003年）。

このような非付随用法（#/）の分布傾向は、新聞コーパスにも共通して確認される。すなわち、初出はいずれのコーパスでもおおむね1960年代～1975年代に分布しており、事例の増加はやはり1980年代以降である。この増加は、*Theorie*（表2）を除くすべての表のZEITで、*Plan*（表1）ではさらにTS、BZ02でも確認される。

東西ドイツ語の差異1：使用頻度

非付随用法（#/）の分布に関しては、東西ドイツ語に興味深い相違が見られる。

その一つ目は、それぞれの事例数全体に占める非付随用法（#/）の割合に見られる相違である。

下の表7は、表1～5の個別表最下行に挙げた #/、t/、p/ の事例数（「小計」欄の数）を再掲し、それぞれの事例数全体（「合計」欄の数）に占める割合を示したものである（w/、r/、[他] は事例数が限られているため省略）。この表7の、特に網掛け部分から明らかなように、ZEIT の非付随用法（#/）の割合は、*Plan* の場合74.9%、*Beschluss*、*Idee*、*Programm* の場合でもそれぞれ82.1%、74.9%、75.2%と高くなっている。また *Plan* の場合の TS でも、割合が89.3%と圧倒的に高い。これに対し、ND と BZ01 の割合はいずれの場合も低く、最高でも *Idee* の場合のそれぞれ24.2%、38.3%である。すなわち、非付随用法（#/）の使用は西側の新聞において顕著であり、東側の新聞では抑制的である。

「東側の新聞では抑制的」という点は更に、下表7の *Plan* と *Theorie* の、BZ01とBZ02の比較によっても裏付けられる。すなわち、*Plan* の場合、東西ドイツ統一前のデータである BZ01 の非付随用法（#/）の数値は13.3%であるのに対し、統一後の BZ02 では81.8%と大きく変化している（*Theorie* の場合も同じ）。つまり、この数値の変化は、BZ02 のドイツ語が、統一後、抑制的なものから、ZEIT や TS に近いものへと変化したことを推測させるのである。この推測の検証は、しかし、BZ02 での *Beschluss*、*Idee*、*Programm* の検索（今回は未実施）を俟たなければならない。

表7：非付随用法（#/）と付随用法（t/ ほか）の割合（左列＝事例数；右列＝合計に占める割合%）

		#/		t/		p/		合計数
Plan	KK20	2	8.3	17	70.8	2	8.3	24
	KK21	3	60.0	1	20.0	1	20.0	5
	ZEIT	435	74.9	115	19.8	9	1.5	581
	TS	815	89.3	91	10.0	5	0.5	913
	ND	9	4.1	190	85.6	8	3.6	222
	BZ01	25	13.3	146	77.7	8	4.3	188
	BZ02	269	81.8	53	16.1	4	1.2	329
Theorie	KK20	0	0.0	1	10.0	9	90.0	10
	KK21	1	100.0	0	0.0	0	0.0	1
	ZEIT	13	18.8	6	8.7	47	68.1	69
	TS	12	30.0	2	5.0	25	62.5	40
	ND	2	3.8	15	28.8	31	59.6	52
	BZ01	3	8.1	9	24.3	24	64.9	37
	BZ02	7	50.0	2	14.3	5	35.7	14
Beschluss	KK20	6	27.3	13	59.1	1	4.5	22
	ZEIT	225	82.1	43	15.7	4	1.5	274
	ND	59	6.4	799	87.1	46	5.0	917
	BZ01	87	19.2	333	73.3	28	6.2	454
Idee	KK20	5	18.5	15	55.6	3	11.1	27
	ZEIT	539	74.9	130	18.1	30	4.2	720
	ND	83	24.2	200	58.3	37	10.8	343
	BZ01	116	38.3	148	48.8	26	8.6	303
Programm	KK20	0	0.0	4	57.1	2	28.6	7
	ZEIT	118	75.2	31	19.7	3	1.9	157
	ND	16	8.0	168	84.0	10	5.0	200
	BZ01	24	20.2	82	68.9	9	7.6	119

東西ドイツ語の差異 2：初出時期

もう一つの相違は、非付随用法（#/）の初出がND、およびBZ01において、ZEITよりも若干早い傾向が見られることである。すなわち、*Plan*（表1）の場合、ZEITの初出が1970年代であるのに対し、ND、BZ01とも1965年代である。同様の傾向は、*Beschluss*（表3；ZEIT 1975年代 ⇔ ND 1965年代、BZ01 1960年代）、*Idee*（表4；ZEIT 1975年代 ⇔ ND、BZ01 1960年代）、*Programm*（表5；ZEIT 1965年代 ⇔ ND 1965年代、BZ01 1955年代）のいずれでも観察できる（それぞれの初出の実際年とは本稿末の「初出事例」を参照）。このことは、上で第一の相違について述べたこと、すなわち西側の新聞の方が言語変化に進取的、東側の方が抑制的という推測と食い違っているように見え、意外であるとともに、興味のそそられる事実である。

3.2 付随用法（t/ほか）

分布傾向

付随用法（t/ほか）は、*Plan*～*Programm*（表1～5）のいずれについても、t/およびp/が主たる形式となっている。特にt/は使用頻度が高く、1990年代以降の非付随用法（#/）の急増にも特に影響は受けず、安定して用いられ続けている。これに対し、w/、r/は1980年代以前の使用が中心で、近年、あまり用いられなくなっているように見受けられる。

東西ドイツ語の差異：使用頻度

東西間の異なりは、付随用法（t/ほか）についても確認できる。これは、2.2.1節において非付随用法（#/）について述べたことの裏返しになる。すなわち、表7が示すとおり、*Plan*、*Beschluss*、*Idee*、*Programm*のいずれでも、ZEITの付随用法（t/ほか）の割合は低く、逆にNDおよびBZ01では高い。特にNDでのt/の割合は、*Plan* 85.6%、*Beschluss* 87.1%、*Programm* 84.0%と、いずれも極めて高くなっている（*Idee*の場合も同様だが、若干低く58.3%である）。

たとえば*Beschluss*のt/のこの87.1%は、*Beschluss*がumsetzenの目的語となる場合、ほぼつねに*Beschluss in die Tat umsetzen*の組合せで用いられていることを意味している。*Plan*、*Programm*についても同じである。つまり、NDやBZ01においてはこのような規範どおりの表現が、ZEITやTSに比べてより頻繁に、繰り返して用いられていることになり、ここに上で触れた東西統一以前の、東側新聞の変化への抑制的な態度、場合により硬直性の一端を見ることができる。

KK20の場合

なお、表7では、KK20の場合にも付随用法（t/ほか）の割合が高めに出ている。こちらはしかし、KK20が代表性（Representativität）に配慮して構築された参照コーパスであることを勘案すれば、NDやBZ01と同じ意味での硬直的な規範性を示すものではなく、umsetzenの使用実態を正しく反映した数値であろうと思われる。

3.3 Theorieでの分布

共起目的語Theorieについては、本稿ではこれまであまり言及してこなかった。それは、他の*Plan*、*Beschluss*、*Idee*、*Programm*の場合とは、分布のパターンが明確に異なっているためである。

表2から見て取れるように、*Theorie* と他との最大の相違は、いずれのコーパスでも中心的な付随用法が *t/* ではなく、*p/* であることである。表7では、*Theorie* の場合のみ、*p/* の列が網掛になっている。すなわち、*Theorie* が *umsetzen* の目的語となる場合、共起する前置詞句としてより多くの場合に *in die Praxis* が選択されていることになる。これは、すでに恒川（2023：97）で指摘したように、*Theorie* と *Praxis* の間には一般的に強い親和性が見られることから、それが *umsetzen* との共起の場合にも及んだものと考えられる。

他方しかし、より新しいドイツ語（KK21、BZ02）では、*Theorie* の場合でも非付随用法（*#/*）の割合が高くなっている。現段階では事例数が少ないため判断が難しいが、これは、*Theorie* の場合であっても *Praxis* との親和性より、たとえば表現の簡潔性の方が優先されるというような新しい傾向が生じているためかもしれない。

4. まとめと課題

以上、本稿では、DWDS の7つのコーパスから抽出したデータに基づき、「実施に移す」意の *umsetzen* の付随用法（*t/* ほか）と非付随用法（*#/*）の分布と頻度、また後者の初出時期を、共起目的語が *Plan*、*Theorie*、*Beschluss*、*Idee*、*Programm* の場合に限定して見てきた。

非付随用法（*#/*）については、初出はおおむね1960年代～1975年代に分布しているが、初期にはまだ事例数が少なく、増加が見られるのは1980年代以降であり、90年代以降に急増していること、使用頻度は ZEIT、TS で高く、ND、BZ01 では抑制的であること、初出は逆に後者の方が若干早めであることを見てきた。

付随用法（*t/* ほか）については、いずれの時期も比較的安定的に用いられており、非付随用法（*#/*）の増加後も大きな変化は見られないこと、*t/* の使用頻度は東西で相違し、東側の ND および BZ01 において顕著に多いこと、*Theorie* では *p/* が、他では *t/* が中心であることなどを述べた。

しかし、このうち非付随用法（*#/*）の初出に関してはまだ問題が残されている。たとえば次例は、共起目的語 *Erleben* が本稿の調査対象ではないため今回の考察には含まれていないが、かなり早い時期の非付随用法（*#/*）の一例であるかもしれない。また、2.2.1節冒頭で述べたように、非付随用法（*#/*）の初出は、KK20では1922年に遡る。すなわち、他の共起目的語についての調査が進めば、初出時期はその都度修正される可能性がある。

Neues Deutschland, 03.11.1949

Er hat wohl etwas mit der herben verschlossenen Wesensart unserer Menschen zu tun, mehr aber noch damit, daß die unverkrampfte Hingabe an das Werk und die gesellschaftliche Aufgabe fehlt, von der jede Kunst erfüllt sein muß. Auch die Volkskunst soll wirkliches *Erleben* künstlerisch *umsetzen*, muß die Einwirkungen und Impulse unseres heutigen Daseins sichtbar machen.

上例はまた、初出時期だけでなく、非付随用法（*#/*）の発生契機についての示唆も含んでいる。すなわち、この事例では副詞的に用いられた形容詞 *künstlerisch* が共起しているが、本稿末尾の「初出事例」19例中の5例でも、*praktisch*（*Plan*；ZEIT）、*tatkräftig*（*Beschluss*；KK）、*bildschirmwirksam*

(Idee ; ND)、visuell (Programm ; ZEIT)、publizistisch (同 ; ND) との共起が見られる。このことを勘案すれば、このような修飾要素との共起が非付随用法 (#/) の一つの成立契機となっている可能性も考えられる。

上例はさらには、多様な *umsetzen* の事例のどの範囲までを、「実施に移す」意の *umsetzen* と認めるのか、という難しい問いも含んでいる。本稿で調査対象とした共起目的語 *Plan* ~ *Programm* の場合には、付随用法 (t/ ほか)、非付随用法 (#/) の両方が見られる。そのため、付随用法 (t/ ほか) はもちろん、対応する非付随用法 (#/) もこの意味の範囲内に含まれると、比較的容易に判断できる。これに対し、上例の *Erleben künstlerisch umsetzen* の場合のように、非付随用法 (#/) の一例である可能性はあっても事例数が少なく、比較対照できるような対応する付随用法 (t/ ほか) が見当たらない場合、これを果たして該当範囲に含めてよいかどうか、判断は難しい。

結局、動詞 *umsetzen* は広く「何かを何か別のものに変換する」という意味を表しているだけで、日本語で「実施に移す」と理解される事例（典型的には *in die Tat/Praxis* ほかと共起する場合）と、それ以外の、日本語では他の訳語を充てる必要のある事例とは、ドイツ語の側から見れば一続きであり、両者間に明確な線引きはできないと思われる。したがって、『「実施に移す」意の *umsetzen*』という対象の切り取り方には再検討の必要があるかもしれない。今後の課題としたい。

参 考 文 献

- 恒川元行 (2022a) : ドイツ語動詞 *umsetzen* の用法の推移 — DWDS 中核コーパスの用例に基づく — (研究ノート), 九州大学言語文化研究院『言文論究』, 48, 75-83.
- 恒川元行 (2022b) : 動詞句 *etwas in die Tat umsetzen* とそのバリエーション — DWDS の ZEIT コーパスに基づく調査 — (研究ノート), 九州大学言語文化研究院『言文論究』49, 25-38.
- 恒川元行 (2023) : 動詞句 *etwas in die Tat umsetzen* とそのバリエーションの共起目的語 — DWDS の ZEIT コーパスに基づく調査 — (研究ノート), 九州大学言語文化研究院『言文論究』50, 89-102.
- 成田節・カンミンギョンほか : ドイツ語コーパスハンドブック2009, 東京外国語大学グローバル COE プログラム「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」論文執筆支援シリーズ, 2009.

非付随用法 (#/) の初出事例

■ Plan

(KK20) Gebrauchsliteratur o. A. [for.]: Steuererklärung. In: Aktuelles Lexikon 1974-2000, München: DIZ 2000 [1994]

Durch Steuervereinfachung will nun Finanzminister Waigel die Bürokratie in einigen Punkten zügeln und für Steuerbürger etwas mehr Klarheit schaffen. Falls die *Pläne umgesetzt* werden, sollen Steuerpflichtige künftig auch Kurzerklärungen von nur zwei Seiten abgeben können.

Die Zeit, 24.11.**1972**

Initiator der Steuernotgemeinschaft ist Hans-Christian Röglin, Mitinhaber des R + S Verlages, den er zusammen mit dem konservativen Journalisten Leo Schütze betreibt. Röglin hat auch die „Complan-Gesellschaft für Öffentlichkeitsarbeit“ gegründet, die als kommerzielles Unternehmen die ideologischen *Pläne* der Steuernotgemeinschaft praktisch – das heißt in Anzeigen – *umsetzt*.

Neues Deutschland, 11.02.**1966**

Humphrey soll *Pläne* von Honolulu *umsetzen*

Unter scharfen Sicherheitsmaßnahmen in Saigon eingetroffen

Berliner Zeitung, 08.04.**1967**

Wir rücken dadurch einen Schritt näher an den Weltmarkt heran, denn mit den neuesten Entwicklungsergebnissen werden wir aus erster Hand vertraut gemacht. Da heißt es mit den Ingenieuren und Konstrukteuren eng zusammenarbeiten, um ihre Ideen und *Pläne* in kürzester Zeit *umzusetzen*.

■ Theorie

(KK21) Schrott, Raoul: Tristan da Cunha oder die Hälfte der Erde; Hanser Verlag **2003**, S. 550

Ich arbeite noch einmal die mitgebrachten Bücher durch; die *Theorie* verstehe ich, aber sie *umzusetzen* erweist sich als lernaufwendig.

Die Zeit, 22.05.**1970**

Die Florentiner „Società Cameristica Italiana“ hat sich in zehn Jahren gemeinsamer Praxis zu einem der führenden Streichquartette für Neue Musik entwickelt. [...] Sie zeigt an fünf nicht einmal eine Minute langen Stücken von Schnebel, wie subtil punktuelle Musik klingen kann, wenn sie so präzise wie hier artikuliert wird; ... an „Summer“ von Christian Wolff aber auch, daß selbst die schönsten *Theorien* nicht unbedingt ein gutes Stück ergeben, nicht einmal, wenn Musiker sie *umzusetzen* haben, die über soviel Spontaneität verfügen wie die „Società“: ...

Neues Deutschland, 27.04.**1971**

Die Forschungskonzeption wirkt sich aber auch auf die Ausbildungsdokumente aus. Nach unseren Vorstellungen müssen die Ausbildungsdokumente so gestaltet werden, daß wir sowohl Mathematiker ausbilden können, die die Grundlagenforschung weiterführen, als auch Mathematiker, die in der Lage sind, die mathematischen *Theorien* in der Praxis anzuwenden und *umzusetzen*.

Berliner Zeitung, 16.04.**1983**

Phoumi Vongvichit bezeichnete die Konferenz als eine ausgezeichnete Gelegenheit für Kontakte zwischen den Delegationen verschiedener Parteien und für einen Austausch der Erfahrungen, die sie beim Aufbau in ihren Ländern und im Kampf für Frieden und gesellschaftlichen Fortschritt gemacht haben. Die Laotische Revolutionäre Volkspartei sei voller Hochachtung für Marx und Engels, die eine für alle Zeiten und alle Völker gültige revolutionäre *Theorie* ausgearbeitet haben und für Lenin, der sie mit Schöpfergeist

umgesetzt hat.

■ **Beschluss**

(KK20) Fries, Fritz Rudolf: Der Weg nach Oobliadooh, Frankfurt a. M.: Suhrkamp **1966**, S. 290

Fragen Sie nur, Genosse, aber Sie sehen ja selbst, wie hier mit revolutionärem Elan gearbeitet wird, die *Beschlüsse* von Partei und Regierung tatkräftig umgesetzt werden, damit wir Westdeutschland bald im Prokopfverbrauch überholen können.

Die Zeit, 20.02.**1976**

„Wenn Du in Deiner Eigenschaft als IG-Metall-Mitglied mich ... fragst, welche Position Du gegenüber der von der Regierungskoalition ins Auge gefaßten Mitbestimmungsregelung einnehmen sollst, so kann ich Dich nur auf unsere ... *Beschlüsse* verweisen ... etwas ganz anderes ist es, wenn Du mich ... als Bundestagsmitglied der CDU fragst. Auch insoweit könnte ich Dir ... nichts anderes empfehlen, als den Versuch zu machen, die gewerkschaftlichen *Beschlüsse umzusetzen*.“

Neues Deutschland, 03.02.**1967**

Aber unsere Vorgesetzten fühlen sich nicht ganz wohl, wenn sie das gleiche mit uns nicht noch einmal tun. Meiner Meinung sollten Pionierleiterbesprechungen die wichtigsten *Beschlüsse umsetzen* helfen, Erfahrungen vermitteln und dabei herausarbeiten, wie man die besten Ergebnisse erreicht.

Berliner Zeitung, 18.04.**1964**

Parteitag der KPdSU und ihre *Bechlüsse, die* Sie in einer so entschiedenen Weise in der Praxis *umgesetzt* haben, sind die Triebkraft, die noch nie dagewesene Perspektiven für die schöpferische marxistische Lehre eröffnet.

■ **Idee**

(KK20) Der Spiegel, 18.07.**1983**

Die Urheber der “Horrorliste” sind nicht nur weiter in Amt und Würden, sondern haben inzwischen auch auf Bundesebene die Mehrheit hinter sich. Ist nicht zu befürchten, daß sie ihre *Ideen* im Gesetzgebungsverfahren nun zügig *umsetzen* werden?

Die Zeit, 09.12.**1977**

Wer als Designer nicht zeichnen kann, bleibt ein Berufskrüppel. Alle *Ideen*, alle Aufgaben lassen sich nur über Zeichnungen *umsetzen*. Je virtuoser daher ein Designer mit dem Zeichenstift umgehen kann, desto effektiver wird seine Arbeit sein.

Neues Deutschland, 17.05.**1961**

Ein Lob, das Hubert Schmidt-Gigo als Verdienst für sich buchen kann. Er serviert nicht nur Motorsporttips im netten Gewand, sondern weiß *Ideen bildschirmwirksam umzusetzen* und überzeugt nicht zuletzt ‘durch die Natürlichkeit seines Auftretens.

Berliner Zeitung, 10.04.1963

Das Zeichenbrett nahm er mit. Aus gutem Grund, wie wir erfuhren. Es steht neben seinem Schreibtisch. Rechnen, zeichnen, *Ideen umsetzen*, Technologien verbessern, das sind seine Aufgaben und mehr als das: seine Leidenschaften.

■ **Programm**

(KK20) 事例なし

Die Zeit, 02.08.1968

Werde ich eines Tages selber in der Lage sein, Programme für Computer zu entwerfen, so läßt sich eine Methode für Ausstellungen vorstellen, die den Zollkram, die den Werktransport (inklusive Frachtbeschädigungen) ausschließt. Per Lochstreifen wird mein *Programm* zu meiner Galerie in Toronto durchgegeben, ein Autograph *setzt es* dort *visuell um*. Durch die Laser-Holographie wird es plastisch, also dreidimensional projiziert.

Neues Deutschland, 12.12.1968

Was Springer vertritt, ist das Programm der tonangebenden Gruppierungen des westdeutschen Monopolkapitals, eingeschlossen seine politische Repräsentanz in Regierung, Parlament und Bundestagsparteien. Was vom Springer-Konzern erwartet wird, ist: dieses volksfeindliche *Programm publizistisch umzusetzen*, massengerecht und schichtenspezifisch, angepaßt dem Bewußtseinsstand und intellektuellen Niveau des jeweiligen Publikums.

Berliner Zeitung, 20.11.1959

Sie prüften zusammen mit Berliner Volksvertretern, was die örtlichen Organe der Staatsmacht unternommen haben, um das „*Programm der Jungen Generation*“, welches auf dem IV. Parlament der FDJ in Rostock beschlossen wurde, im Betriebsplan *umzusetzen*.